

# 平成 2 8 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から

平成 29 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 日韓経済協会

## 目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	3
IV. 日韓経済人会議	-----	4
V. 日韓新産業貿易会議	-----	10
VI. 青少年交流事業	-----	11
VII. 調査・広報活動	-----	16
VIII. その他事業及び出来事等	-----	18
IX. 会員異動	-----	20

# I. 総 会

## A. 第4回定時社員総会

第4回定時社員総会は平成28年6月28日東京都千代田区丸の内2-3-1三菱商事ビルディング3階中会議室で開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案が審議の結果満場一致で原案どおり可決承認された。

1. 日 時 平成28年6月28日(火)  
開 会 午後1時30分  
閉 会 午後2時40分
2. 場 所 東京都千代田区丸の内2-3-1  
三菱商事ビルディング 3階 中会議室
3. 正 会 員 総 数 82名
4. 出 席 正 会 員 数 62名  
(内 訳)  
正会員出席者 13名  
委 任 状 49名
5. 議 事  
第1号議案 平成27年度事業報告承認の件  
第2号議案 平成27年度収支決算報告承認の件  
第3号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件  
第4号議案 平成28年度事業計画及び収支予算承認の件  
第5号議案 監事選任承認の件  
第6号議案 常務理事・管理担当に対する報酬支給の件

## Ⅱ. 理 事 会

### A. 平成28年度第1回理事会

1. 日 時 平成28年6月15日(水)

2. 議 案

第1号議案 第4回定時社員総会開催の件

第2号議案 第4回定時社員総会付議事項承認の件

(1) 平成27年度事業報告(案)

(2) 平成27年度収支決算報告(案)

(3) 公益目的支出計画実施報告(案)

(4) 平成28年度事業計画及び収支予算

(5) 監事選任承認の件

(6) 常務理事・管理担当に対する報酬支給の件

第3号議案 諮問委員会理事推薦承認の件

### B. 平成28年度第2回理事会

1. 日 時 平成29年3月30日(木) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 平成29年度事業計画(案)の件

第2号議案 平成29年度収支予算(案)の件

第3号議案 諸規程の改正について

### Ⅲ. 諮問委員会

#### 第4回 諮問委員会

1. 日 時 平成28年11月21日（月）  
17:00～19:00
2. 場 所 三菱クラブ
3. 出席者 諮問委員会理事会社 9社
4. 議 題（活動報告）

#### I. 日韓経済協会の活動状況

－ ビデオ上映 －

- ①日韓高校生交流キャンプ
- ②日韓連携第三国グローバル展開
- ③企業現場人材育成事業/次世代経営者交流事業

#### II. 青少年交流事業の為のファンド設立

## IV. 日韓経済人会議

第48回日韓経済人会議は、日韓国交正常化51年目を迎えた5月17日、18日の二日間、日本国東京（ホテルオークラ東京別館）に於いて開催され、日本側からは佐々木幹夫団長以下182名、韓国側からは金 鉦団長以下136名が出席して開催された。

[2016年5月17日（火）]

14：30～15：40 開会式 : B2F アスコットホール

14：30～14：40 開会

14：40～15：00 団長挨拶

□日本側団長：佐々木幹夫（ササキ ミキオ）（一社）日韓経済協会会長

■韓国側団長：金 鉦（キム・ユン）（社）韓日経済協会会長

15：00～15：40 来賓挨拶

□日本側来賓：星野 剛士（ホシノ ツヨシ） 経済産業大臣政務官

■韓国側来賓：周 亨煥（チュ・ヒョンファン） 産業通商資源部長官

□日本側来賓：額賀福志郎（ヌカガ フクシロウ） 日韓議員連盟会長

□日本側来賓：榊原定征（サカキバラ サダユキ） 日本経済団体連合会会長

15：40～16：20 基調講演

□日本側講演：三村 明夫（ミムラ アキオ） 日本商工会議所 会頭

■韓国側講演：朴 容 晩（パク・ヨンマン） 大韓商工会議所 会長

16：20～16：50 Coffee Break

16：50～17：15 日韓新産業貿易会議の報告

□日本側報告：麻生 泰（アソウ ユタカ） 日本側チェアマン

■韓国側報告：安 宗 原（アン・ジョンウオン） 韓国側チェアマン

17：15～17：20 協会活動の一般報告

是永和夫（コレナガ カズオ） 日韓経済協会 専務理事

17：30～19：00 共同開催レセプション : 2F オーチャードルーム

[2016年5月18日(水)]

09:00~11:20 第1セッション

テーマ:「アジアの世紀における日韓新時代」

■ Coordinator: 李景台 (イ・ギョンテ) 高麗大学校 碩座教授  
前韓国貿易協会 国際貿易研究院長

□ 日本側: ①石山博嗣 (イシヤマ ヒロツグ) 前 SJC 理事長  
前韓国三菱商事株代表理事社長

発表主題:『日韓の経済連携とその発展～第3国への展開～』

■ 韓国側: ①朴商鎭 (パク・サンジン) 三星電子株社長

発表主題:『東アジア経済共同体の形成と韓日 R&D ネットワークの構築』

□ 日本側: ②楊仁集 (ヤン・インジプ) 眞露株代表取締役社長  
駐日韓国企業連合会前会長

発表主題:『日・韓の未来を動かす経営』

■ 韓国側: ②權泰信 (クォン・テシン) 韓国経済研究院院長

発表主題:「日韓経済協力の未来 (新成長動力を中心として)」

◇ パネルディスカッション、質疑応答

11:20~11:45 特別講演

柳明桓 (ユ・ミョンハン) 元外交通商部長官/元駐日本大韓民国特命全権大使  
KIM&CHANG 法律事務所 顧問

発表主題:『北朝鮮問題について』

11:45~13:00 昼食会

\* 団長・副団長・新産業貿易会議チェアマン (共同声明案審議)

: 12F ケンジントンテラス

\* 団員

: 2F オーチャードルーム

13:20~15:40 第2セッション

テーマ:「日韓友好元年、次の50年に向けた新しい日韓パートナーシップ構築」

□ Coordinator: 平野 克己 (ヒラノ カツミ) 日本貿易振興機構 理事

□ 日本側: ①加藤勝彦 (カトウ マサヒコ) みずほ銀行ソウル支店支店長

発表主題:『日本企業のグローバル展開と日韓連携』

■ 韓国側: ①朴泰鎬 (パク・テホ) SEOUL 大学校国際大学院 教授  
元外交部通商交渉本部長

発表主題:『TPPの発足と日韓協力』

□日本側：②井上剛伸（イノウエ タケノブ）

国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長

発表主題：『福祉機器の研究開発と日韓連携』

■韓国側：②洪政國（ホン・ジョングク） 在日韓国科学技術者協会 顧問

発表主題：『韓・日間人材交流の活性化と韓・日協力の強化』

◇パネルディスカッション、質疑応答

15：40～16：00 Coffee Break

16：00～16：20 閉会式

共同声明採択 / 両国団長挨拶

16：30～17：00 共同記者会見(両国団長) : 12F ケンジントンテラス



## 共同声明

「日韓友好・経済協力元年 / 共に手を携え更なる経済・人材・文化交流で新時代を築こう！」

第48回日韓経済人会議は、日韓国交正常化51年目を迎えた2016年5月17日と18日の両日にわたって日本国東京において開催され、日本側から佐々木幹夫団長以下182名、韓国側からは金 鉦団長以下136名が参加した。

### 【51年目の日韓協力】

日韓両国はこれまで政治的葛藤・経済危機、自然災害など幾多の困難に直面してきたが、両国の経済人は日韓の友好・経済協力元年を迎えた本年に至るまで一度も中断することなく日韓経済人会議を継続開催し、本日第48回目の会議が開催される運びとなった。その間、日韓関係が政治面で冷え込んでいた中でも50周年記念事業としてソウルで第47回経済人会議が成功裡に開催され、さらには日韓商工会議所首脳会議、日本経団連・韓国全経連・両国経済協会の共催によるシンポジウム等を積極的に開催することで日韓関係の改善を訴えてきたところ、こうした努力も実り、ついに昨年11月2日に切に望んできた日韓首脳会談が実現した。民間の立場からその環境作りに協力してきた両国経済人は両国政府関係者の決断による首脳会談の実現を大いに歓迎し、この会談開催を機に日韓関係が一層緊密化することを期待する。

一方、中国経済の不透明感、エネルギー、資源価格の下落等を背景とした従来の経済秩序の不安定性、更には北朝鮮の度重なる挑発的行動に対し両国の経済人は強い懸念を表明するとともに、この様な時であればこそ両国経済界は経済連携の強化や人材交流、文化交流等を通じ両国の友好拡大は勿論、高い技術を持った両国間の協力によるインフラ輸出等を通じ、世界経済の発展に貢献していく事とした。

### 【大震災後5年を経過して】

日本に甚大な被害を与えた東日本大震災より5年が経過した。未だに17万人を越す人々が避難生活を余儀なくされている状況にあるが、現地では懸命に復旧、復興に向けた作業が続いている。また、本年4月には熊本地震が発生し、韓国に地理的に近い九州でも多大な被害が出た。その際にも韓国政府、国民からのお見舞い・救援物資の提供を受けた。日本の経済人は韓国政府、国民よりの広範な物心両面にわたる支援と深い友情を決して忘れるものではなく、本経済人会議に於いて改めて心からの謝意が表明された。

### 【次の50年に向けた未来志向の日韓協力】

両国経済人は国交正常化51年目の本年、改めて先進国としての自覚を新たにし、両国がより未来志向で密接にアジアの発展をけん引していく事とした。日韓の経済界が協調してアジアの発展と世界経済の持続的成長に貢献するために以下の事項について積極的に協力していく事

を確認した。

1. 日韓両国がアジアの経済統合を主導

両国の経済人は従来、一貫して「一つの経済圏」の形成、更にはアジア地域全体の経済統合に向け日韓両国が主導的立場から協力していく事の重要性を主張してきた。

その観点からも、両国経済人は本年2月4日に12か国が署名したTPP（環太平洋パートナーシップ協定）への韓国の参加を希望する。また更に、レベルの高い日韓中FTAの早期締結に向けて今後共サポートを続けて行く事で合意した。

2. 第3国に於ける協業の拡大

両国の経済人は今後共、資源開発・インフラ輸出分野において両国そして第3国が互恵的に協力できる協業体制を構築していくことを確認し、金融分野でも日韓経済の安定的発展と第3国での協業を円滑に推進するために、金融・為替・投資など一連の経済政策上の協力が不可欠であるとの認識に基づき、引き続き両国政府へ現実的かつ適切な運営を望むこととした。

3. 今後の成長分野での協力

少子高齢化は両国共通の社会的課題であり、将来的にはアジア全域の課題である。両国経済人は高齢者医療・介護問題の解決を目指す事自体が成長戦略の1つであるという理解に立ち、医療・介護機器開発、介護人材の確保と教育、施設運営等に関しアジア諸国の協力を得ることも含め幅広く情報の共有、国際規格作りなどで協調していく事を確認した。また、国境をまたぐ大気汚染、水質汚染等の環境問題についてもその協調と解決への努力が成長戦略に繋がる事を認識し、両国経済人が積極的に協力をしていく事を確認し、同分野のみならず未来志向の技術においても双方にメリットのある共同研究及びR&Dネットワーク構築に向けた技術標準化の可能性を模索する事とした。

4. 情報通信・観光分野での協力

両国経済人は、両国で年間600万人もの人が往来する現在、両国の観光客の利便性の向上の為にICTを活用した連携について具体的に研究・協力を推進していく事とした。

5. 次世代交流と文化交流の拡充

両国経済人は次の日韓関係50年を担う次世代の交流と文化交流による両国民の理解の深化は未来志向の日韓関係の礎であるという認識のもと、日韓高校生交流キャンプ・日韓大学生未来会議を継続し、また日本の企業文化の理解に役立つ在韓日本企業による韓国大学生のインターンシップや次世代の中小企業若手経営者の交流の充実を図ることとした。毎年秋に両国でそれぞれ行われる日韓・韓日おまつりは両国企業の支援もあり、昨年の入場者が過去最高を記録し日韓国交正常化50周年にふさわしいものとなった。このような次世代交流や草の根文化交流を両国国民の相互理解促進に繋げるため継続的な広報活動に努めることとし、更なる交流の拡充・発展に向けて両国政府の深いご理解とご支援を期待する。

**【次回会議の開催】**

次回、第49回日韓経済人会議は2017年に大韓民国で開催することとした。

2016年5月18日

日本側代表団団長 佐々木 幹夫

韓国側代表団団長 金 鉦

## V. 日韓新産業貿易会議

### 第 18 回日韓新産業貿易会議

1. 開催日：2017年3月28日(火) 18:30～20:30 (レセプション)  
3月29日(水) 09:00～15:30 (会議)

2. 場 所：大韓民国 Seoul COEX  
Intercontinental Seoul COEX / COEX Asem Hall 201

3. 参加者：日本側 38名 韓国側 36名 合計 74名

4. 講演テーマ：

『激動する世界経済情勢における更なる日韓協力、  
新たな分野へ挑戦し、ともに未来を拓こう！』

- ① Session I：「激動する世界経済情勢における日韓協力」
  - ・ 鄭仁教(チョン・インキョウ) 仁荷(イナ) 大學校 對外副總長  
「保護貿易主義の台頭と韓日の対応」
  - ・ 藤山 知彦 国立研究開発法人 科学技術振興機構  
研究開発戦略センター上席フェロー  
「SDGs と Someone First -日韓の立ち位置は?-」
- ② Session II：「更なる日韓経済協力／新たな分野への挑戦」
  - ・ 李珉和(イ・ミンファ) 創造經濟研究會 理事長  
「第4次産業革命 雇用の変化」
  - ・ 藤吉優行 ソウルジャパンクラブ理事長  
「2017年度 ソウルジャパンクラブの取組み」
  - ・ 日韓經濟協會/日韓産業技術協力財団  
「2016年日韓經濟協會/日韓産業技術協力財団の活動報告」

5. 総 括：

昨年 of 英国の EU 離脱、トランプ大統領誕生と保護主義の世界的台頭、そして韓国国内の政情不安と朴大統領弾劾、日韓関係の悪化と長嶺大使帰任、直近の北朝鮮問題と、激動といってもいいくらいの世界情勢と日韓関係の状況下、日韓の経済交流をどう位置付けるか、もう一度基本に立ち返り、日韓の経済人が日韓経済交流の大切さ、継続価値の共有をするべきという結論に達した。

## VI. 青少年交流事業

### 1. 青少年交流事業の実施状況

#### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで13年間で23回開催し、延べ2,140人近くの交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校との理解と協力が広がりつつある。
  
  - ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS: 2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(財)日韓文化交流基金委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営し、2013年度、2014年度はJENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として(財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格しその業務委託金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、参加費無料で運営した。2015年度、2016年度は「JENESYS2.0/JENESYS2016」の業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金、それから参加者より参加費として10,000円を徴収し運営した。
  
  - ③ 本キャンプの最大の特徴は事業企画を立てるという課題を日韓混成チームに与え、その共同作業により深い交流を体験させることである。この特徴を基に回を重ねる度にプログラム内容の充実を図り、参加学校も増えてきている。2016年度の第23回キャンプでは、2011年東日本大震災による被災地である宮城県南三陸町・仙台市で開催し、両国高校生が10人前後の日韓混成チームに分かれ、被災地の復興現場を見学したり、南三陸町の基幹産業である養殖漁業体験に参加したりした。また、日本経済現場体験としてホテル・介護福祉施設・おまつり会場・農業の現場(畑)を訪れ地元の方々と触れ合いながらそれぞれの仕事を直接体験する機会を持った。その体験学習を基に、防災・地域貢献などの内容を取り入れた日韓両国の新たな未来につながる新復興計画案あるいは、新まちおこし案を企画・発表した。
- 他に、日本文化体験として、日本の「縁日」をコンパクトに再現し、日本の昔ながらの遊びやゲーム、食べ物、キャンプファイヤーなどを楽しみながら、日本の伝統文化についての理解を深めた。また、日本三景の一つである松島

では遊覧船に乗って美しい島々の風景を観賞する機会を持った。参加する前まではたくさんの不安や心配もあったが、事業終了後は参加した学生から、掛け替えのない特別な経験ができたとの感想文が多く寄せられた。

- ④ 今後の課題：本事業の成果・意義を社会的に訴求することで政府の継続的支援を得ていくことが肝要である。

## (2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国で OB 会 (JKSFF/KJSFF) を発足させ 2006 年度から活動を始めた。日韓各々にて勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。
- ② 両国 OB 会活動最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前勉強・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2016 年度は「私たちの身近な社会問題」をテーマに、福岡市にて第 11 回目を開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

## (3) 「Visit & Feel JAPAN Tour in 2017 Winter」実施状況

- ① 日本の歴史や自然、現代や未来を感じさせる場所を訪れ、日本の産業やおもてなしを感じさせる体験をすることで、多角的視点から日本と日本人を見て感じてもらうツアー・交流会を行う。また、ツアー中やツアー終了後、参加者が見たもの、経験したこと、感じたことについて、SNS に定期的、また任意に投稿してもらい、交流活動の様子とともに日本の魅力を広く発信することも、このツアー・交流会の一つの大きな目標である。
- ② 第 1 回目だった 2016 年度は、箱根・日光・鎌倉・東京などの関東地方を巡りながら、日本の名所(大涌谷・鶴岡八幡宮・鎌倉大仏・東照宮・浅草寺・お

台場など)視察・アサヒビール神奈川工場見学・パナソニックセンター東京訪問・アサヒビール本社訪問・JTB社訪問・駐日韓国大使館訪問&大使との交流会・日本の学生との交流会・日本文化体験(ミニかまくら作り、着物試着、茶道など)など6日間日本を肌で感じられる様々な体験を行った。

- ③ 高校生交流キャンプ・未来会議と同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

## 2. 青少年交流事業の実施実績

### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第10回～第18回、第20回～第23回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省、駐韓日本大使館、  
韓国産業通商資源部／駐日韓国大使館、韓国中小企業庁／創業振興院

・これまでの開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人
第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人

第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 &仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
延べ参加人数			1,061人	1,077人	2,138人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第3回～第6回、第9回～第10回、第11回は自主開催)
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB会組織)
- ・後援：日韓経済協会

・これまでの開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者(高校生)
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人(11人)
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人(6人)
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人(14人)
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人(13人)
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人(10人)
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人(7人)
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人(3人)
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人(1人)
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人(1人)
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人(1人)
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
延べ参加人数			159人	165人	324人(67人)



(3) 「Visit & Feel JAPAN Tour in 2017 Winter」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC (ソウルジャパンプラブ)
- ・協力・協賛：三菱商事(株)、アサヒビール(株)、JTB、JKSFF・KJSFF

・これまでの開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ参加	20人	20人
延べ参加人数				20人	20人

(4) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB会組織)
- ・後援：日韓経済協会

・これまでの開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人

### 3. 2017年度青少年交流事業開催予定

2018年冬季オリンピック・パラリンピックの舞台である韓国平昌（ピョンチャン）にて開催する「第24回日韓高校生交流キャンプ」では、両国高校生が10人前後の日韓混成チームに分かれ、オリンピック開催予定地を見学したり、韓国経済の現場体験を行う。その体験学習を基に、2018年平昌冬季五輪&2020年東京夏季五輪で日韓両国が相互協力できる新たな五輪ビジネス案を企画・発表する。これら現場体験や共同作業を通じて日韓高校生のより濃密な交流を図る。運営面については、日本側では「日韓文化交流基金」の企画競争公募に申請する予定であり、韓国側では産業通商資源部の支援を募る予定である。

## VII. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供  
～定期刊行物（週報・月報）の発行～

### 1. 『日韓経済協会通信』（週報）

韓国の政治経済動向・経済指標の変化・社会文化一般トピックス等のニュースを韓国の新聞記事や韓国政府機関HPから選別し、翻訳のうえ校正・編集した情報を週報として作成した。

協会の客観的な視点を基軸にして韓国情勢をウオッチし、韓国語記事内容のチェックも行い、読みやすい日本語訳にするよう努めた。

尚、週報はEメールにて（一部ファックス）原則として毎週木曜日に会員宛てに送付した。

一方、当該週に翻訳した記事のうち週報に未掲載の記事はタイトル一覧を週報末尾に記載し、会員からの要望に応じ個別に要望記事をEメールする対応も行った。

2016年度は、2016年4月7日付け第1213号から2017年3月30日付け第1260号までの48週分を発行した。

### 2. 『協会報』（月報）

協会報の主な内容は次の通り。

[**経済一般動向**]では、韓国の最新動向に沿った関連記事を、主として韓国の経済週刊誌複数から選択し翻訳したうえ、順次に情報として提供した。週報とは異なり、よりまとまった話題性の高い記事の掲載に留意した。

[**JKEレポート**]では、(最近の韓国情勢)と(最近の日韓企業間の動向)を～報道日誌～として、多数の日韓メディア報道の中より主たるものを選択し、時系列的に掲載した。

[**資料**]では、韓国の主要な最新統計資料を選択し翻訳して掲載した。

[**協会事業など**]では、協会の各種活動内容を紹介し報告した。

また、協会と共に各種活動を推進している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動も幅広く月次報告した。

2016年度は、517号（2016年4月号）から528号（2017年3月号）まで月刊で計12冊を発行し、会員会社・関係団体等に配布した。  
（「協会報」の掲載記事一覧は別添）

### 3. 最近の経済状況

貿易立国の韓国の2016年実績(暦年)は、輸出4,955億<sup>ドル</sup>（前年比5.9%減）、輸入4,061億<sup>ドル</sup>（同7.0%減）、貿易収支黒字は893億<sup>ドル</sup>であった。

輸出入を合わせた年間貿易額は2014年まで4年連続で1兆<sup>ドル</sup>を超えた。しかし、2015年には中国経済成長の鈍化や世界的な景気低迷の影響を受け9,633億<sup>ドル</sup>と1兆ドル割れし、2016年は9,016億<sup>ドル</sup>となった。

輸出減少を上回る輸入減少（原油価格の低落などで）もあり、不況型黒字とも言われる一面が有る。

一方、韓国銀行発表の2016年の経常収支は987億ドルの黒字（前年比6.9%減）を計上し、外貨準備高は2016年末で3,711億ドル（2017年3月末で3,753億ドル）を保有する。

韓国の実質GDP成長率は2011年以降2～3%台で推移しているが、2016年は2.8%（暫定値）だった。2017年は成長率2.6%（韓国銀行）と見通されている。最近は輸出・投資と共に消費も回復傾向が現れている。

統計庁発表の若年失業率（15～29歳）は2016年2月に12.5%と過去最高値となった。しかし、12月末は8.4%で37万人と低下したが、2017年3月末に11.3%で50万人となり、若年層の就職難は依然として大きな社会問題となっている。

また、家計負債は依然として増加が止まらず2016年末には1,344兆ウォンに達し、拡大傾向が止まらない。

2013年2月15日に就任した朴槿恵（パク・クネ）大統領は、2016年12月9日に国会において弾劾訴追案を賛成多数で可決され、即日職務停止となった。2017年3月10日には憲法裁判所の判断で罷免され、3月31日には収賄罪・強要・職権乱用など18の罪で起訴された。

新大統領選挙は5月9日に投開票される予定。

## IX. その他事業及び出来事等

### 1. 柳興洙駐日本国大韓民国特命全権大使歓送会

- (1) 日 時：平成 28 年 6 月 16 日
- (2) 場 所：三菱クラブ
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、徳植副会長、水野副会長、清原副会長、小泉副会長、是永専務理事、杉山常務理事、木村理事

### 2. 蒲島郁夫 熊本県知事訪問

- (韓日経済協会及び韓日産業技術協力財団からの熊本地震に対する義捐金伝達)
- (1) 日 時：平成 28 年 7 月 6 日
  - (2) 場 所：熊本県庁
  - (3) 訪問者：麻生副会長、是永専務理事、木村理事

### 3. 第 4 回韓日創造経済フォーラム（主催：駐日本国大韓民国大使館）

- (1) 日 時：平成 28 年 7 月 28 日
- (2) 場 所：東京虎ノ門ヒルズ
- (3) 参加者：麻生副会長、是永専務理事、杉山常務理事他

### 4. 李俊揆駐日本国大韓民国特命全権大使との懇親会

- (1) 日 時：平成 28 年 8 月 22 日
- (2) 場 所：三菱開東閣
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、十倉副会長、水野副会長、清原副会長他、是永専務理事、杉山常務理事、木村理事

### 5. 第 24 回日韓フォーラム

- (1) 日 時：平成 28 年 8 月 24 日～26 日
- (2) 場 所：ANA インターコンチネンタルホテル東京
- (3) 参加者：麻生副会長、是永専務理事

### 6. 日韓交流おまつり 2016 in Tokyo（第 8 回）

- (1) 日 時：平成 28 年 9 月 24 日～25 日
- (2) 場 所：日比谷公園
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事

### 7. 第 7 回東京－ソウルフォーラム

- (1) 日 時：平成 28 年 9 月 30 日～10 月 1 日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：水野副会長、小泉副会長、木村理事

**8. 日韓交流おまつり 2016 in Seoul (第12回)**

- (1) 日 時：平成28年10月2日
- (2) 場 所：COEX 展示場
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事

**9. 開天節（韓国建国記念日）レセプション**

- (1) 日 時：平成28年10月3日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事

**10. 第52回日韓・韓日協力委員会合同総会**

- (1) 日 時：平成28年10月23日～25日
- (2) 場 所：ロッテホテルソウル／プレジデントホテル
- (3) 参加者：是永専務理事、杉山常務理事

**11. 第10回日韓商工会議所首脳会議**

- (1) 日 時：平成28年11月7日～8日
- (2) 場 所：シェラトングランド仁川ホテル
- (3) 参加者：是永専務理事、杉山常務理事

**12. 駐日韓国企業連合会 韓日経済人交流の夕べ**

- (1) 日 時：平成29年2月9日
- (2) 場 所：帝国ホテル
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事、木村理事

**13. 賀詞交歓会（日韓経済協会及び日韓産業技術協力財団共同開催）**

- (1) 日 時：平成29年1月17日
- (2) 場 所：三菱クラブ
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、徳植副会長、水野副会長、清原副会長、古賀副会長、小平副会長他

## IX. 会 員 異 動

### 1. 入会

- |          |    |
|----------|----|
| (1) 正会員  | なし |
| (2) 協力会員 | なし |

### 2. 退会

#### (1) 正会員

(会員名)	(退会年月日)
株式会社橋本製作所	H. 28. 06. 30
双日株式会社	H. 28. 07. 31
東洋紡株式会社	H. 28. 09. 30
川崎重工業株式会社	H. 28. 09. 30
オリックス株式会社	H. 29. 03. 31
コクヨ株式会社	H. 29. 03. 31
関西電力株式会社	H. 29. 03. 31
UCC上島珈琲株式会社	H. 29. 03. 31

- |          |    |
|----------|----|
| (2) 協力会員 | なし |
|----------|----|

### 3. 平成 29 年 3 月 31 日現在

正会員数	74社
協力会員数	7社

以上

# 月刊誌『協会報』の主要標題一覧

2016年4月(第517号)～2017年3月(第528号)

【特集】		2016年8月	II. 「住宅問題」が最優先…法人税 引き上げには「賛成」
2016年6月	・日本政府首脳への表敬訪問		
	・第48回日韓経済人会議を開催		III. 60%は、「今の状況では財テク どころではない
2017年1月	・平成29年 年頭所感		
			・憲法裁判所の関門を突破した 「金英蘭法」
【協会報告】			
2016年11月	・第4回諮問委員会の開会挨拶		・来年の最低賃金は6,470ウォン…労使 ともに不満
【経済人会議】		9月	・サード配備問題で悪化する韓中関係
2017年2月	・第49回日韓経済人会議開催の お知らせ		I. 中国による「サード報復」に震え が止まらない韓国企業
			II. 中国による「サード報復」にやき もきする企業たち
【経済一般動向】			III. チャイナリスクが膨らんだ背景は IV. チャイナリスクの解決策
2016年4月	・若者の失業率が過去最悪の12.5%に ・大韓民国の50代の報告書 I. 会社をいつクビになるか、いつも不安 II. アンケートから見えた50代の自画像		・生活の中に入り込んできた金英蘭法 ・右肩上がりの家計負債増加率
5月	・大企業集団トップ30、この30年間 の変遷史 ・3%台成長の実現は期待薄・・・ 「切り札」がない		・3040 v s 5060 世代別に創業の特徴を 見てみると
	・チャイナマネーの空襲警報 I. 金の力に物言わせた食欲さ 「誰も止められず」 II. 企業・金融・不動産・・・全方位 で投資	10月	・人口5,000万人時代の幕開き ・金英蘭法がもたらした経済的 波紋は? ・名分を欠いた「貴族労組」のスト、 経済を直撃 ・四面楚歌の韓国鉄鋼産業 ・サムスン・LG・SK、バイオ産業 で勝負
6月	・マンション価格上昇でソウルの 人口が1,000万人以下に ・方向が見えない為替レート、 一体どこへ向かうのか ・低成長の罨にはまった韓国の製造業 ・Kバイオ「777戦略」で飛躍へ I. 企業の「R&D」と政府の「規制 緩和」の足並み揃う II. 「バイオ」が堅実な7つの理由		
		11月	・危機を迎えた韓国ビッグ2 ・「解体論のプレッシャー」四面楚歌 の全経連 ・世界経済と韓国経済の今後を占う
7月	・大韓民国・30代の報告書 I. 30代の実状を覗いて見ると II. アンケートから垣間見えた30代 の自画像 III. 30代が考える韓国社会 IV. 30代に対する専門家の視点	12月	・パーフェクトストームに直面している 韓国経済 ・時価総額トップ100企業から脱落 した25社 ・2018年に住宅市場が危機を迎える というのは本当か? ・崔順実ゲートでどん底に落ちた 韓国経済 ・全国の創造的経済革新センターは今?
	・「沈黙の殺人者」－微細粉塵 ・現実とかけはなれた統計庁の発表値 の方こそ問題	2017年1月	・悪材料が重なった不動産市場 ・金利引き上げに揺れ動くチョンセ・ ウォルセ市場
8月	・残り20カ月となった朴槿恵政権 I. 「朴政権はダメだ」という 回答が67%		・朴槿恵政権4年間で家計負債は22% 増加

2017年1月 (続き)	・家計負債問題への対策、方向性は正しいのか？	2017年1月	・最近の韓国情勢～報道日誌～
	・超低金利時代の終焉、韓国経済はいずこへ	2月	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～
	・韓国経済にパーフェクト・ストームは襲来するのか？	3月	・最近の韓国情勢～報道日誌～
	・2017年の経済展望・・・韓国の主力産業		・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～
	I. 自動車・造船	〔資料〕	
	II. 精油・石油化学	2016年4月	・2015年韓国社会指標 (統計庁)
2月	・キーワードでひも解く主要グループの2017年の課題		・「2015会計年度国家決算」発表 (企画財政部)
	・バイオ産業のメッカ、松島に行く		・公取委が大企業集団 (相互出資制限企業) を指定 (公正取引委員会)
	・危機に瀕する造船・海運業が生死の岐路に		・2016年2月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	・急速に冷え込む体感景気、通貨危機時のデジャブ		・2016年3月の消費者物価動向 (企画財政部)
	・財界に地殻変動・・・新世界が10大グループ入り		・2016年3月末の外貨準備高 (韓国銀行)
	・幸福指数急落、年代が上がるほど不幸		・2016年1～3月期の外国人直接投資 (産業通商資源部)
	・知的好奇心が薄れている韓国	5月	・2015年地域別・通貨別国際投資対照表 (韓国銀行)
3月	・不況の中にあって輸出を支えてきた石油化学・精油		・2016年3月の自動車産業動向 (産業通商資源部)
	・いつのまにか家計の借金が1,344兆ウォンに		・2016年3月の国際収支 (韓国銀行)
	・1,344兆ウォンを記録した家計負債		・2016年1～3月期実質国内総生産 (速報) (韓国銀行)
	・ふくらむ4月危機説の4大原因		・2016年1～3月期海外直接投資動向 (企画財政部)
	・政財界の癒着の罫にはまったサムスングループ		・IMFが世界経済展望を発表 (企画財政部)
〔JKレポート〕			
2016年4月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年4月の消費者物価 (統計庁)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		・2016年4月の雇用動向 (統計庁)
5月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年4月輸出入動向 (確定) (韓国・関税庁)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
6月	・最近の韓国情勢～報道日誌～	6月	・2016年3月末国際投資対照表 (暫定) (韓国銀行)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
7月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年1～3月期家計動向 (全国) (韓国統計庁)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
8月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年4月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
9月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年5月の消費者物価動向 (企画財政部)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
10月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年5月の輸出入動向 (産業通商資源部)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
11月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・2016年5月自動車産業動向 (産業通商資源部)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
12月	・最近の韓国情勢～報道日誌～		・最近の国内外経済動向 (韓国銀行)
	・最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		



2016年7月	・2016年6月末外貨準備高 (韓国銀行)	2016年11月 (続き)	・2016年10月輸出入動向 (産業通商資源部)
	・2016年上半期外国人直接投資動向 (産業通商資源部)		・2016年10月末外貨準備高(韓銀)
	・2016年上半期の自動車産業動向 (産業通商資源部)		・2016年10月雇用動向(統計庁)
	・2016年6月の雇用動向 (韓国統計庁)	12月	・「OECD Economic Outlook」発表 (企画財政部)
	・2016年6月の輸出入動向 (韓国関税庁)		・2016年7～9月期の家計動向 (韓国統計庁)
8月	・2015年北朝鮮の経済成長率推定 結果(韓国銀行)		・2016年7～9月期の家計信用(暫定) (韓国銀行)
	・2016年4～6月期実質国内総生産 (速報)(韓国銀行)		・2016年10月国際収支(韓銀)
	・2016年6月の生産者物価指数 (韓国銀行)		・2016年7～9月期国民所得(暫定値) (暫定値)(韓国銀行)
	・2016年6月の国際収支(暫定) (韓国銀行)		・2016年11月の消費者物価動向 (韓国・統計庁)
	・2016年7月の輸出入動向 (産業通商資源部)		・2016年11月輸出入動向 (産業通商資源部)
	・2016年7月自動車産業動向 (産業通商資源部)		・2016年11月外貨準備高(韓銀)
	・2016年上半期(1～6月)海外直接 投資動向(企画財政部)	2017年1月	・国会で確定した2017年予算の主要 主要内容(企画財政部)
9月	・2017年政府予算案(企画財政部)		・2016年外国人直接投資動向 (産業通商資源部)
	・2016年6月末の国際投資対照表 (暫定)(韓国銀行)		・2016年12月及び年間の雇用動向 (韓国統計庁)
	・2016年4～6月期国民所得(暫定) (韓国銀行)		・2016年12月及び年間の自動車産業 動向(産業通商資源部)
	・2016年7月の国際収支(暫定) (韓国銀行)		・2016年12月及び年間の輸出入 (韓国関税庁)
	・2016年8月末の外貨準備高 (韓国銀行)	2月	・2017年経済展望(韓国銀行)
	・2016年8月の輸出入現況(関税庁)		・2016年10～12月期及び年間の国内 総生産(速報)(韓国銀行)
	・2016年8月の自動車産業動向 (産業通商資源部)		・2016年12月国際収支(暫定) (韓国銀行)
10月	・2016年8月の産業活動動向 (企画財政部)		・2016年12月及び年間の産業活動 動向(企画財政部)
	・2016年9月輸出入動向(速報) (産業通商資源部)		・2016年の海外直接投資動向 (企画財政部)
	・2016年9月末外貨準備高 (韓国銀行)		・2017年1月末の外貨準備高(韓銀)
	・2016年9月自動車産業動向 (産業通商資源部)		・2017年1月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
11月	・2016年7～9月期実質国内総生産 (速報)(韓国銀行)	3月	・2017年1月の雇用動向 (統計庁)
	・2016年7～9月期の海外直接投資 動向(企画財政部)		・2016年末の国際投資対照表(暫定) (韓国銀行)
	・2016年9月国際収支(暫定) (韓国銀行)		・2016年の海外直接投資動向 (企画財政部)
			・2016年10～12月の家計信用 (速報)(韓国銀行)

2017年3月 (続き)	・2016年の年間及び10～12月期の 家計動向(韓国統計庁)	2016年12月	・(一社)日韓経済協会の主要活動 ・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ④
	・2017年1月の自動車産業動向 (産業通商資源部)	2017年1月	・(一社)日韓経済協会の主要活動 ・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ⑤
	・2017年1月の国際収支(韓銀)		
	・2017年2月末の外貨準備高 (韓国銀行)	2月	・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ⑥
	・2017年2月の輸出入動向 (産業通商資源部)	3月	・(一社)日韓経済協会の主要活動 ・Visit & Feel JAPAN Tour in 2017 Winter 開催報告
	・2017年2月の雇用動向(統計庁)		
	・韓国の主要経済指標 (韓国銀行・韓国統計庁ほか)		・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ⑦
【協会事業など】			
2016年4月	・『第22回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文⑧	【財団活動の紹介】	
5月	・『第22回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文⑨	2016年4月	・(一財)日韓産業技術協力財団の 主要活動 ・2015年 企業現場人材育成事業 (インターン実習プログラム) (千吉良 泰三)
6月	・「日韓経済人会議に参加して」 (西村 和義)		
	・(一社)日韓経済協会の主要活動	6月	・(一財)日韓産業技術協力財団の 主要活動
8月	・(一社)日韓経済協会の主要活動 ・ポスコ創業者の朴泰俊氏評伝を 希望者20名に贈呈	8月	・(一財)日韓産業技術協力財団の 主要活動
9月	・第23回「日韓高校生交流キャンプ」 開催報告	10月	・(一財)日韓産業技術協力財団の 主要活動
	・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ①	11月	・「日韓産業技術フェア2016」 開催報告(初瀬川 茂)
	・第11回「日韓学生未来会議」開催 報告	12月	・(一財)日韓産業技術協力財団の 主要活動
10月	・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ②	2017年2月	・(一財)日韓産業技術協力財団の 主要活動
11月	・(一社)日韓経済協会の主要活動 ・『第23回日韓高校生交流キャンプ』 参加生徒の感想文 ③	【その他】	
		毎号	・主要ニュースインデックス